



<ラムサール通信>

2016年11月28日発行 第180号

●第100回<ワイズユース>ワークショップと2016年忘年会●
2016年12月29日（木）に東京・上野で開催します

ラムサールセンター(RCJ)は5月27日の総会后、6月4日エコライフフェア湿地の恵み展(東京代々木)、同5~8日ベンガル湾会議(タイ・マヒドン大学)、7月7~8日ラムサール条約登録関係市町村会議(名古屋)、同25~30日東アジアユース会議(韓国・安山)、8月5~7日KODOMOラムサール湿地交流(北海道・クッチャロ湖)、同27~29日ラムサールシンポジウム中海・宍道湖/湿地学会(鳥取・島根)、9月1~9日IUCNコンGRESS(米国ハワイ)、9月17日環境デーなごや(名古屋)、11月13日佐潟ラムサールシンポジウム(新潟)、12月26日漫湖国場川水あしび(沖縄那覇)……など国内外で活発な活動がつづき、あつというまに年末を迎えようとしています。

さて、RCJ<ワイズユース>ワークショップと恒例の忘年会のお知らせです。今年は上野で、12月29日、「湿地と環境教育」をテーマに、日本国際湿地保全連合(WIJ)のサイエンスカフェWet. CAFEと初のジョイント開催でおこないます。そして忘年会も引き続き同じ会場です。

第100回<ワイズユース>ワークショップ&第6回Wet. CAFE
「湿地と環境教育」

RCJボランティアスタッフの尾崎友紀さんが、2014年10月から2年間の南米ペルーでの青年海外協力隊活動を終えて帰国しました。赴任地のパラカス自然保護区(ラムサール登録湿地)での環境教育活動について報告します。さらに、熊本県有明海沿いのラムサール条約湿地「荒尾干潟」で実施中のWIJの環境教育活動と、中~大学生が運営するNGOユースラムサールジャパンの活動について報告します。終了後、同じ会場で忘年会に移ります。なおRCJ恒例の「お礼参り」も同日午前におこないます(詳細別項)。

【とき】2016年12月29日(木)午後3時30分~5時

【ところ】GOBLIN.(ごぶりん)上野店(東京都台東区東上野2-18-7 共同ビル3F)
上野駅、地下3番出口から徒歩1分 <http://goblinspace.jp/goblin-ueno/>

【スピーカー】尾崎友紀さん(ラムサールセンター)
比留間美帆さん(日本国際湿地保全連合)
佐藤湧馬さん(ユースラムサールジャパン)

【参加費】一般:2000円 会員・学生:1000円

~~~~~ 2016年忘年会 ~~~~~

●とき:2017年12月29日(木) 午後5時~7時

●ところ:GOBLIN.(ごぶりん)上野店 (上記ワイズユースワークショップと同じ会場です)

●参加費:3000円(学生割引あります)

※ワークショップ、忘年会とも、参加される方は電話、FAX、またはメールで、12月22日(木)までにご連絡ください。WIJのホームページ(以下アドレス)から申し込むこともできます。よろしくお願ひします。

[https://docs.google.com/a/wi-japan.org/forms/d/e/1FAIpQLSftFih103WMINS3VB8\\_KWoRdf7tqYxh4SBYBUgdSV6yT-N9Cg/viewform](https://docs.google.com/a/wi-japan.org/forms/d/e/1FAIpQLSftFih103WMINS3VB8_KWoRdf7tqYxh4SBYBUgdSV6yT-N9Cg/viewform)

## ●お礼参りは、「じゃいあん」のお墓（千葉・下総橋）にいきます●

ことしのお礼参りは2月に急逝された RCJ 会員、じゃいあんこと高橋一也さんのお墓参りをします。

突然、彗星のごとく登場し、KODOMO ラムサールの有能なファシリテーターとして活躍、全国の子どもたちに親しまれたじゃいあんを失ったことは、今年の RCJ 最大の痛恨事です。ご冥福を祈りにうかがいます。

【集合】2016年12月29日（木）午前8時 東京駅総武線地下4番ホーム

【出発】東京8時10分発の JR 総武線快速（エアポート成田）「成田空港」行きに乗ります。

（※品川から乗車の場合は8時発、千葉から乗車の場合は8時51分発です）

【行程】成田で JR 成田線（9:41 発）に乗り換え～下総橋（10:36 着）～タクシーと徒歩で山の上のお墓へ。

帰りは下総橋（12:26 発）～千葉～東京（14:57 着）。そして上野（ワークショップ会場）へ

## ●ラムサールセンターの主な活動報告（2016年夏～）●

・湿地保全のための東アジアユース会議 in 安山 2016年7月25～30日、イーウーシンさん（ソウル大学・RCJ 会員）のコーディネートで韓国の安山市で催され、RCJ は日本の谷津干潟、藤前干潟、東よか干潟、蕪栗沼から小～高校生 11 人の参加実現に協力しました。安山市での国際子ども湿地交流開催は、2009 年以来 2 度目です。同じく RCJ 会員のジュギジェさん（釜山大学）、チェンケリンさん（WI 中国）も協力し、日本・韓国・中国・ミャンマー・カンボジアの 5 か国の子どもが参加した盛大なイベントになりました。活動のようすはフェイスブックでも紹介しています。 <https://www.facebook.com/RamsarCenterJapan?ref=hl>

・KODOMO ラムサール湿地交流 in 浜頓別 2016年8月5～7日、地元のクッチャロ湖等保全対策協議会のほか浜頓別漁協、東宗谷農協、クッチャロ湖エコ・ワーカーズ、ウソタン砂金共和国とラムサールセンター（RCJ）、日本湿地保全連合（WIJ）などによる実行委員会の主催で開催されました。クッチャロ湖、宮島沼、釧路湿原、サロベツ原野、蕪栗沼・周辺水田/化女沼、琵琶湖、中海、くじゅう坊がツル・ダテ原湿原、東よか干潟、屋久島永田浜の全国 11 湿地から計 32 人が参加しました。詳細は RCJ のホームページをごらんください。 [http://rcj.o.oo7.jp/japanese/kodomo/hamatonbestu/kodomo\\_hamatonbestu.html](http://rcj.o.oo7.jp/japanese/kodomo/hamatonbestu/kodomo_hamatonbestu.html)



・ラムサールシンポジウム 2016 in 中海・宍道湖 2016年8月27～29日に、鳥取県、島根県、RCJ、WIJ、日本湿地学会、環境省が共催して、鳥取県米子市で開催されました。1996年、2001年に「ラムサールシンポジウム新潟」が開催されて以来の全国規模の湿地シンポジウムで、行政、研究者、NGO、市民、企業などから 300 人が参加。活発な情報交換と議論の場となりました。現在、報告書の編集作業を進めています。